

2つの
重大危険

戦争法廃止
待ったなし

戦争法によって自衛隊が「殺し、殺される」現実的危険が生まれています。

南スーダン 現地は内戦状態 自衛隊が「殺し殺される」

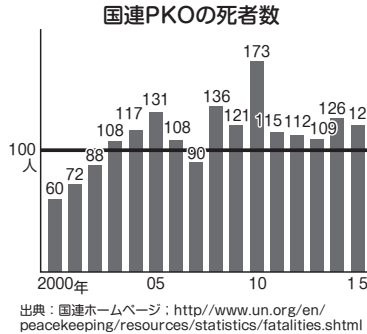
自衛隊はアフリカの南スーダンに約350人のPKO（国連平和維持活動）部隊を出しています。その部隊に安倍政権は駆けつけ警護（別項）など、新たな任務を加えたうえ、武器使用権限も拡大しようとしています。



その南スーダンは内戦状態。政府軍によ

りPKO部隊が攻撃される深刻な状況です。他方、国連PKOは20年余で紛争当事者として武力行使を行うものに変容しています。

自衛隊は南スーダン政府軍とも銃火を交えることに一。憲法9条が禁じる武力行使そのものです。



「駆けつけ警護」自衛隊が、自ら攻撃を受けていなくても、離れた場所にいる他国軍や文民の「警護」に駆けつけ、敵対勢力を攻撃するという任務。

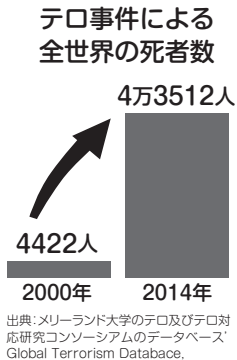
しかし米国主導の有志連合はISへの空爆を強化しています。

安倍首相は有志連合を「支持する」と表明、軍事支援についても「政策的判断として考えていない」としつつ、「法的にはありうる」との態度です。

「戦争法がある以上、米軍の要請を拒否できず、軍事支援を行うことになるのではないか」。共産党・志位和夫委員長の追及に首相は「お断りする」と答えたものの、拒否する理由を全く示すことができませんでした。異常な米国いいなりの日本政府が本当に拒否できるかきわめて疑問です。

ISへの空爆 米の軍事支援要請 拒否できるのか

過激武装組織ISへの軍事作戦に自衛隊が参加?! ISはイラク侵略戦争などの混乱の中で生まれ、拡大しました。戦争でテロはなくせないというのが歴史の教訓です。



安保法制廃止 立憲主義守れ

「戦争法廃止、立憲主義を守れ」と全国で署名を集めています。学生、学者、ママの会、宗教者など広範な団体が呼びかけ憲法記念日（5月3日）までに2000万人を目標にしています。皆様のご協力をお願いします。



12万人が国会を包囲（15年8月30日）
日本共産党のホームページより

日本共産党

「国民連合政府」を引き続き主張します

戦争法を廃止し、立憲主義を回復する。その課題を実行する国民連合政府をつくる—日本共産党の主張が大きな反響を呼んでいます。しかし、野党間では「国民連合政府」への賛否は様々です。共産党は政府の問題については横に置いて選挙協力の協議に入り、協議の中で党の主張をしていくことにしています。